

■ CASE 7 ■

■ CASE 8 ■

■ CASE 9 ■

■ CASE10 ■

■ CASE11 ■

■ CASE12 ■

大學生の筆箱のリアル

NONO

■ CASE 7 ■

はさみ(メーカー不明)

消しゴム(トンボ鉛筆)

油性ペン(寺西化学工業)

シャープペンシルの芯  
(PILOT)

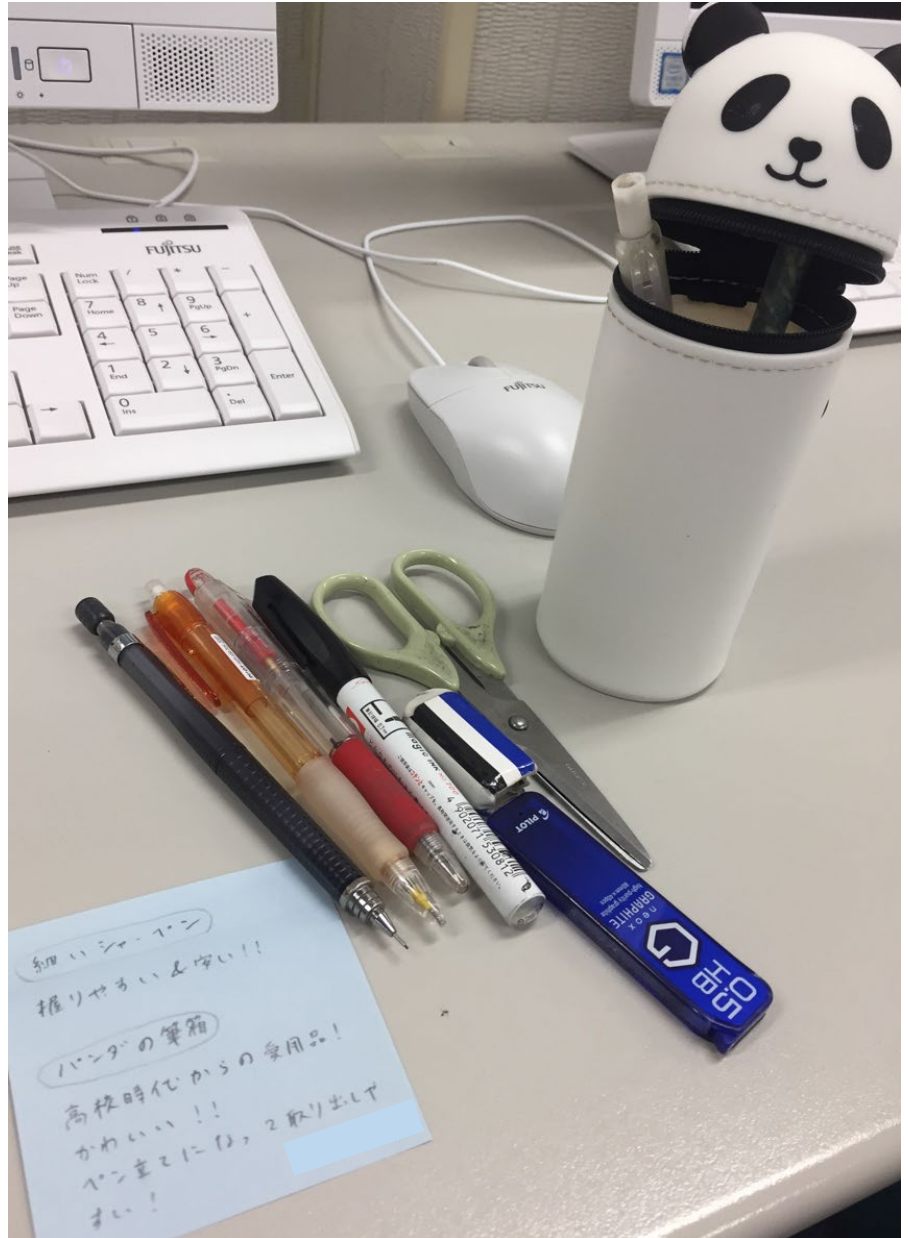
ボールペン(ZEBRA)

シャープペンシル

(PILOT)×2

シャープペンシル

(メーカー不明)×2



筆箱は高校生のときに気に入って買ったものである。ペン立てになる仕様で筆記具が取り出しやすく、パンダの形がかわいいところが気に入っている。パンダの耳の上部分が一部白くなってしまったくらい使い込んでいる。

中身は慌てて準備したときに机の上にあったものを入れてきたため、特にボールペンや蛍光ペンなど普段使っているが忘れてきたものもあるため不十分である。中身も高校生の頃から使っているものが多いが、オレンジのシャープペンは大学生になって筆箱を忘れたときに急遽生協で買ったものである。文房具がすぐ安価で手に入るのがありがたいと思った。

筆箱の中に入っているシャープペンは販促文具で貰ってからずっと筆箱の中にあるが、何故かあまり使わずに入れたままになっている。



シャープペンシル(PentelJAPAN)

蛍光マーカー(uni PROPLUS)

シャープペンシルの芯(メーカー不明)

ボールペン(メーカー不明 ノベルティ)

マスキングテープ(ムービック)

USBメモリ(SONY 8GB)

\*

華の女子大生(笑)の筆箱の中身だとは到底思えない貧相な内容である。筆記の際に最低限必要になる消しゴムや赤ペンさえも入っておらず、華やかさどころか機能面でさえ最低のラインに達していない。

私の筆箱の内容物が貧相なのは新しく買った文具をすぐに紛失してしまうためである。そんな中学生が残ったのはイベントのノベルティで得たボールペン、催促文具として受け取った蛍光マーカー、紛失に紛失を繰り返した日新しく買ったシャープペンシル、好きなアニメ作品モチーフのマスキングテープ、必携品のUSBメモリである。こだわりがあるというよりは、意図せず集まってしまった文具たちであるが、これもまた私の個性を反映したラインナップなのであろう。

## ■CASE 9 ■



- ・定規(MIDORI)
- ・ゲルインキボールペン(インク色左から赤、青、黒 無印良品)
- ・シャープペンシル(無印良品)
- ・修正テープ(MIDORI)
- ・テープのり(KOKUYO)
- ・0.5 mmシャープペンシルの替え芯(三菱鉛筆)
- ・ステープラ(MIDORI)
- ・消しゴム(無印良品)

\*

私のこだわりは小さめの筆箱に収まるコンパクト感とシンプルさである。

中学生のころに小さめの筆箱に目覚め、それ以来ずっと小さめの物を使っている。現在使っているサマンサタバサの筆箱は、大学生になりアルバイトをはじめ、自分の稼いだお金でほしいものを買えるようになってから初めて買った自分あてのクリスマスプレゼントである（プレゼントをあげる相手が自分というのはどうにもむなし話ではあるが…）。この筆箱に必要なものをひとつずつ詰め込もうと思うと、全体的に文房具も小さめになってくる。

そして、シンプルなデザインが売りの、無印良品の文房具をメインに据えることにより、私の筆箱の中身はシンプルさも持ち合わせるようになった。無駄をそぎ落としたデザインというのは長い間飽きずに使い続けることができる。きっとこれからも中身をほとんど変えることなく使い続けていこう。

■CASE 10■



文房具へのこだわりはそれほどないと思っていたが、こうして筆箱の中身を並べて一点ずつ見つめ直すと、自分は案外こだわりを持って文房具を選んでいたことに気づく。シャープペンは色が剥けても使い続け、シャー芯やのり、修正テープや蛍光ペンは使い終わったら同じものを購入する。多色ボールペンはインクが切れたら替芯を入れる。それぞれ気に入ってるポイントがあり、例えば蛍光ペンは、蛍光色すぎない優しい色を気に入っている。多色ボールペンはさらさらとした書き心地が好きだ。

思い起こせば中学生くらいの頃までは、何本ものカラーペンやシャープペンシルを持ち歩いていた。いろいろ試した結果、一番自分になじむのがこれらの文房具なのだろう。

消しゴム二個(トンボ鉛筆 MONO)	蛍光ペン(uni PROPUS WINDOW)
シャープペンシルの替芯(ぺんてる Ain)	油性マーカー(uni ピース)
修正テープ(PILOT)	定規(メーカー不明)
スティックのり(トンボ鉛筆 PiT)	付箋(住友スリーエム)
シャープペン(uni クルトガ)	USBメモリ(TDK)
多色ボールペン(uni JETSTREAM)	

## ■CASE 11■

■**筆箱のサイズ**：縦：約 8 cm 横：約 24cm 厚さ：約 11.5cm（手足、しっぽも含む）

■**特徴**：ウーパールーパーのぬいぐるみ型。少し黒ずんでいるところもある。  
手触りが非常に良い。収納ポケットは1つ。

■**購入先**：去年の9月に友人たちと旅行で訪れた鳥羽水族館の土産屋にて購入した。

■**購入金額**：2000円程度だったと記憶している。

■**購入理由**：以前使っていた筆箱が気に入っていたが、鞆にいれるとかさばり、汚れも目立つようになってきたことからずっと新しい筆箱が欲しかった。そんな時に鳥羽水族館の中のお土産屋さんで、とてもかわいらしい海の生き物型の筆箱を発見した。私がすでに持っていたネコ型のパスケースと同じ会社のものだったし、手触りもよく、なによりその可愛さに一目ぼれしてしまった。ペンはあまり入らなさそうだったが、これを機に持ち歩く文房具を厳選したいとも思っていたのであまり気にならなかった。ウーパールーパー以外にもいるかに、チンアナゴなどの種類もあったように記憶しているが、ウーパールーパーが一番気に入ったのでウーパールーパーにした。また、旅行でテンションが上がっていたということも大いにあっただろう。

写真



写真1 筆箱本体（横）



写真2 筆箱本体（顔正面）



写真3 筆箱の中身

■リスト

品物	ブランド等	備考
消しゴム	ぺんてる	高校時代に友人が何かのお礼にくれたもの。ハイポリマーアイン。裏には大学の友人が貼ってくれた顔つきの富士山柄のマスキングテープが貼られている。
シャープペンシル(0.3)	クルトガ	高校2年か3年の時のオープンキャンパスの日に買ったもの。クルトガは0.3派である。
オレンジペン(0.3)	PILOT Juice up	高校時代に購入し、その書きやすさ

		にはまり愛用しているもの。
赤ペン(0.3)	SARASA	高校時代に購入したもの。すみっこぐらしの柄がついている。可愛くて気に入っているので中のインクだけ詰め替えて繰り返し使っている。そのため本体のインクの太さの表記は 0.4 になっている。
ピンクペン(0.38)	PILOT Juice	中学時代か高校に入学してすぐくらいの時期に友人と遊びに行つてテンションが上がつて衝動買つたもの。6色セットで購入。
黒ボールペン(0.5)	uni JETSTREAM	大学の購買で買ったもの。先を買っていた青の同じ種類のボールペンの書きやすさに感動して購入。
青ボールペン(0.5)	uni JETSTREAM	大学の購買で買ったもの。
水色蛍光ペン	PILOT フリクシオン	実家の机の引き出しから新品の状態で出てきた。おそらくなにかの景品でもらつたもの。
定規	不明	中学1年生の時に友人3人とお揃いで買ったもの。さすがに柄がところどころ剥げてきている。
キャップ付きはさみ(スティックタイプ)	不明	いつどこで買ったのか何も覚えていない。コンパクトで筆箱にも入れやすい。
シャープペンシルの芯(0.3)	uni	大学の購買で買ったもの。
USB メモリ	Yamazaki	中学3年生の時に情報の授業でもらつたもの。裏には当時の名前シールが貼られている。
修正テープ	MONO	おそらく大学の購買で買ったもの。

## ■感想

物持ちはいいほうだという自負はあつたのだが、想像以上に大学入学後新しく買い足したものが少なかった。筆箱本体の可愛さに対して、中身は比較的シンプルだなと思つた。



## ■CASE12■



筆箱は勉強という戦いの一番の相棒で、戦士たる文具にはこだわりが表れるものだと思う。かくいう私も現在の戦士たちに大変こだわりと愛着を持っており、彼らを厳選するのには長い時間がかかった。

コンパクトさと無駄のないフォルム、使いやすさを重視したもので、メーカーには無頓着な「つもり」だったが、こうして見てみるとカラーペンには ZEBRA を、シャープペン関連は PILOT を…というように、意外にも統一性があるようで、驚いている。

歴戦の戦士たちと、彼らとの長い戦いの中で、自分なりの「戦い方」とでも言おうか、文具の選び方が確立されていったようだ。

\*

- ・定規(Raymay)
- ・消しゴム(SEED/Radar)
- ・黒ボールペン(ZEBRA/BLEN)
- ・青ボールペン(uni/Signo DX)
- ・赤ボールペン(ZEBRA/SARASA CLIP)
- ・シャープペン(PILOT/エアブラン)
- ・シャープ芯(PILOT/neox GRAPHITE)
- ・ハサミ(PLUS/Twiggy)
- ・蛍光ペン3色(ZEBLA/MILDLINER)

---

『文具に関する論考と企画：奈良女子大学文具ゼミ 2020』

〔2020年度「文化社会学演習」WEB版報告書〕 <https://bungu-narajo.org/>

---

2020年8月1日

編集・発行 国立大学法人奈良女子大学文学部

人文社会学科文化メディア学コース小川伸彦研究室編

---

〒630-8506 奈良市北魚屋西町 E-mail [ogawanobuhiko@cc.nara-wu.ac.jp](mailto:ogawanobuhiko@cc.nara-wu.ac.jp)

---